



2023年4月7日

各位

会社名 株式会社 技研製作所  
代表者名 代表取締役社長 森部 慎之助  
(コード番号 6289 プライム市場)  
問合せ先 取締役 森野 有晴  
(TEL 088-846-2933)

## 2023年8月期 第2四半期決算説明資料に関するお知らせ

2023年8月期第2四半期の決算概要および2023年8月期の通期業績予想等の説明資料を作成いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

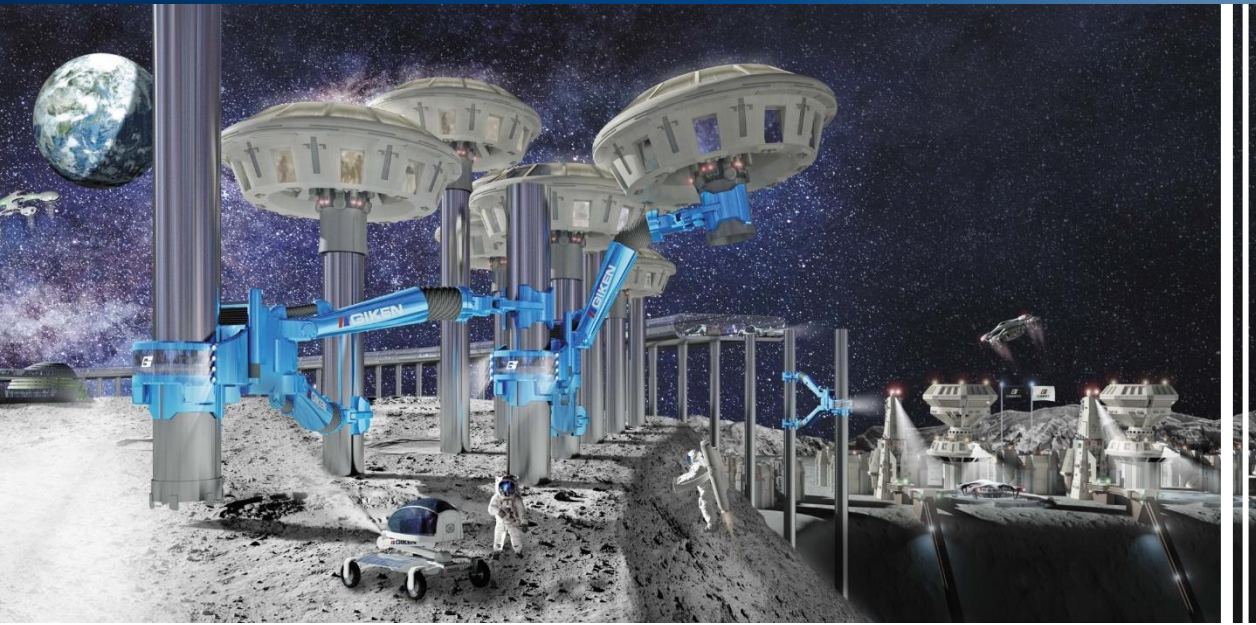
以上

# GIKEN

Construction Revolution



2023年8月期第2四半期(2022年9月～2023年2月)



## 株式会社 技研製作所 決算説明資料

2023年4月7日  
証券コード:6289

本資料において提供される当社および当社グループの現在の方針、経営戦略などの情報のうち、歴史的事実でないものは、将来に関する記述をはじめとする、現在入手可能な情報をもとに構築したいわゆる「見通し情報」を含みます。これらは見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、各国の経済状況や業界並びに市場の景況、金利や物価、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

# 2023年8月期第2四半期 決算概要

# 第2四半期累計期間業績推移

単位：百万円

	2021/8期	2022/8期		2023/8期	
	第2四半期 実績	第2四半期 実績	前年同期比	第2四半期 実績	前年同期比
売上高	13,293	14,218	+7.0%	14,933	+5.0%
営業利益	2,169	2,786	+28.4%	2,146	▲23.0%
経常利益	2,220	2,864	+29.0%	2,194	▲23.4%
四半期純利益※	1,446	1,893	+30.9%	1,374	▲27.4%
1株純利益	52.85円	68.91円	+30.4%	49.98円	▲27.5%

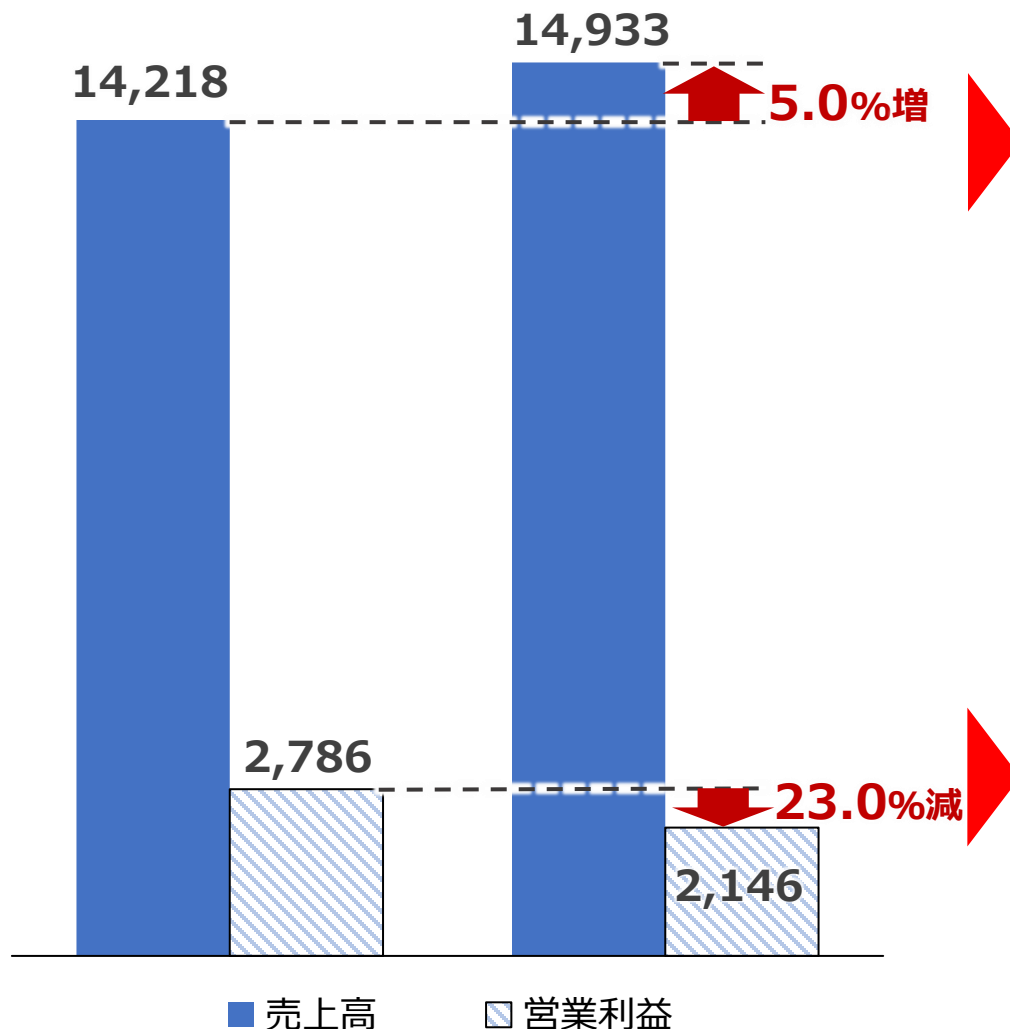
※四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

# 売上高・営業利益 — 第2四半期累計実績比較

2022年8月期

2023年8月期

単位：百万円



## 【売上高変動要因】

- ・汎用機や、超硬質地盤への施工を可能とする「フライホイール式パイルオーガ」の販売が好調
- ・災害復旧・復興、防災・減災工事等での工法採用が増加する中、工事が順調に進捗

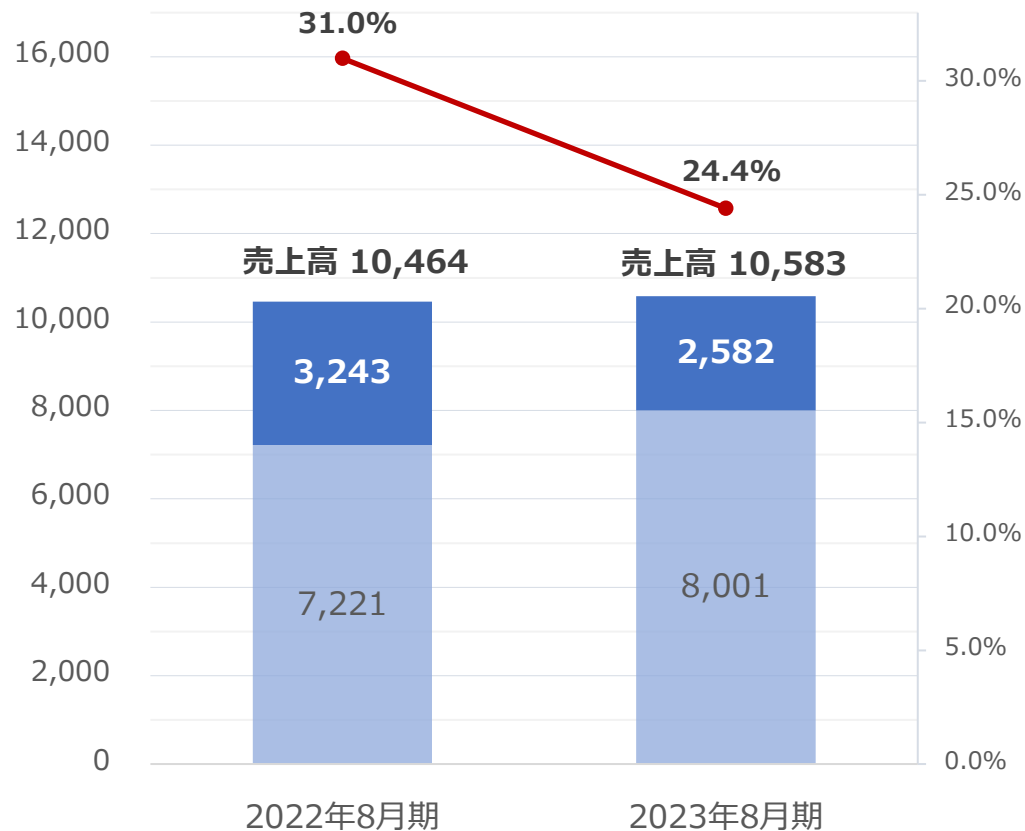
## 【営業利益変動要因】

- ・粗利率の高い製品・部品販売の減少
- ・原材料価格の高騰

# セグメント別営業利益 — 第2四半期累計実績比較

## 建設機械事業

単位：百万円



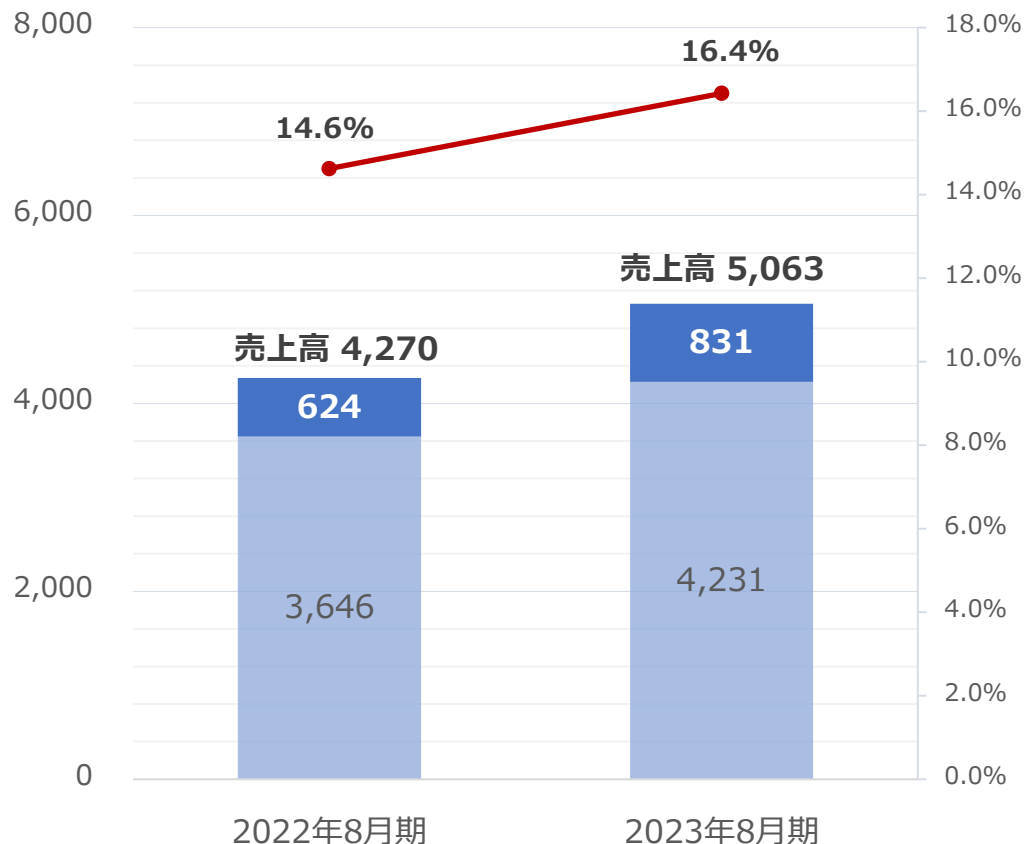
■ 営業費用 ■ 営業利益 ● 営業利益率

### 【利益率の変動要因】

- 粗利率の高い製品・部品販売の減少
- 原材料価格の高騰

## 圧入工事事業

単位：百万円



■ 営業費用 ■ 営業利益 ● 営業利益率

### 【利益率の変動要因】

- 粗利率の高い工事案件の増加

※セグメントの営業利益は、セグメント間で生じる内部取引を含めて計算しております。 5

# 2023年8月期 通期業績予想



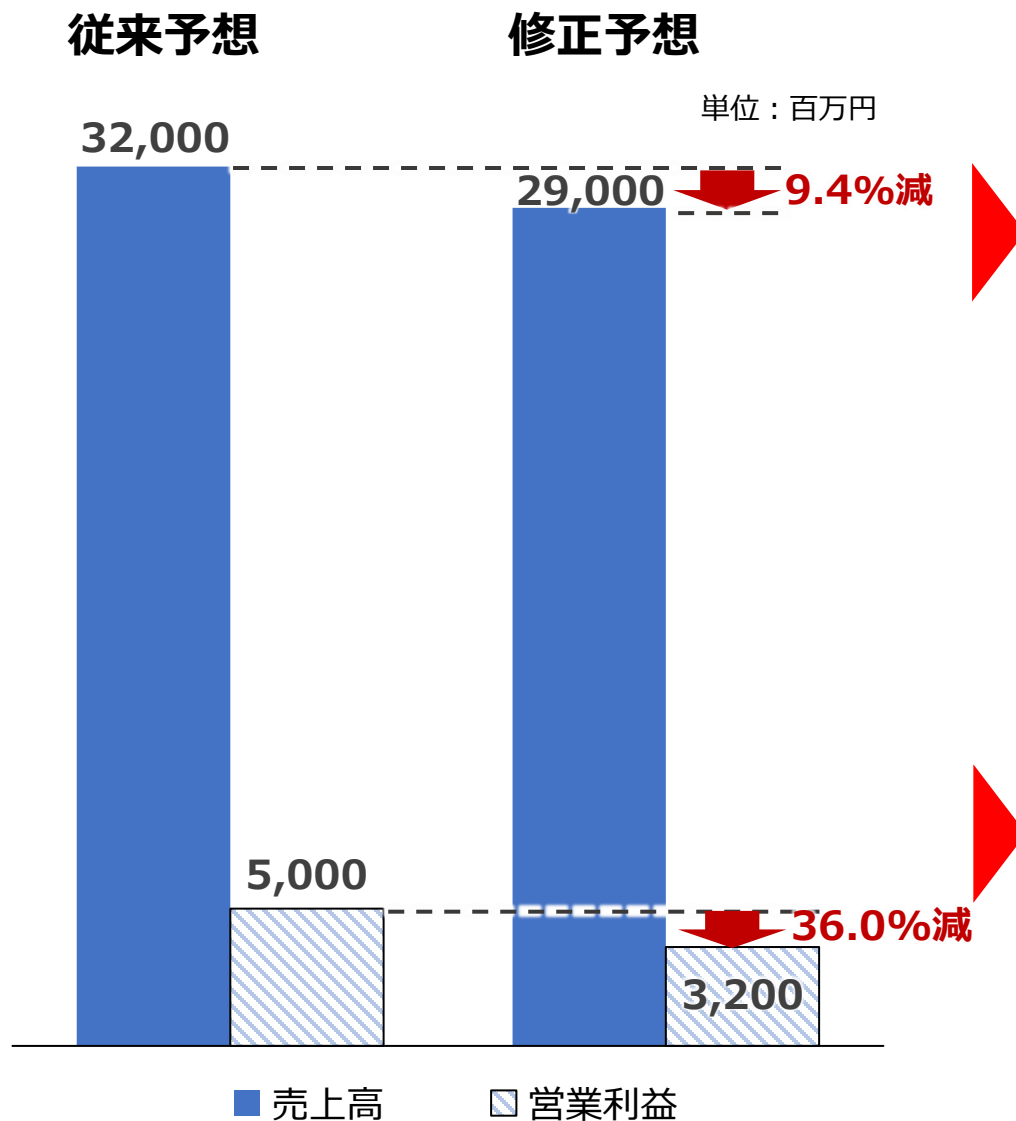
# 通期業績予想

単位：百万円

	2022/8期	2023/8期		2023/8期	
	実績	従来予想	前年比	修正予想	前年比
売上高	30,378	32,000	+5.3%	29,000	▲4.5%
営業利益	4,613	5,000	+8.4%	3,200	▲30.6%
経常利益	4,832	5,050	+4.5%	3,250	▲32.7%
当期純利益※	3,234	3,500	+8.2%	2,000	▲38.2%
1株純利益	117.65円	127.26円	+8.2%	72.72円	▲38.2%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

# 売上高・営業利益 — 通期従来予想/修正予想比較



## 【売上高修正要因】

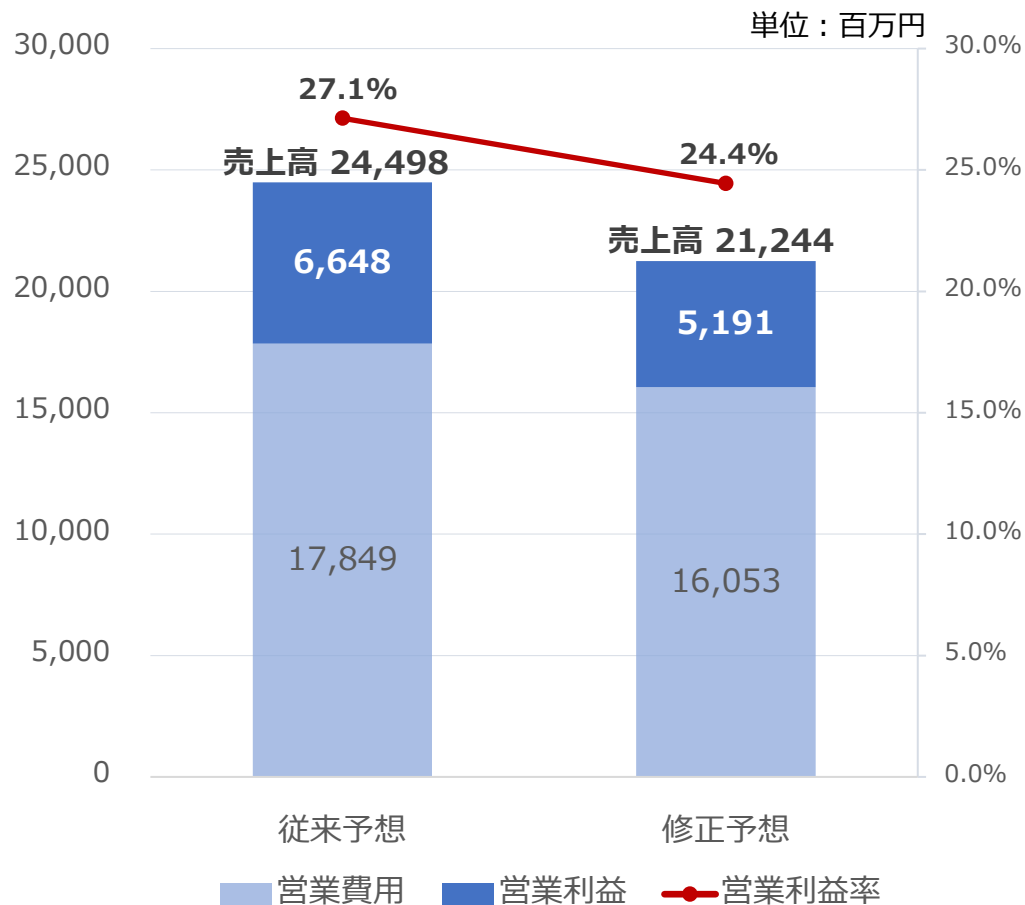
- ・ オセアニア、北米・南米地域をはじめとした海外で想定した受注が見込めず
- ・ 国内において鋼材価格高騰により工事一件あたりの規模が縮小傾向にあることから、製品・部品の販売が減少

## 【営業利益修正要因】

- ・ 利益率の高い建設機械事業セグメントの売上減
- ・ 「人的資本」への投資として、全社員の基本給引き上げを実施したこと等により販管費が増加

# セグメント別営業利益 — 通期従来予想/修正予想比較

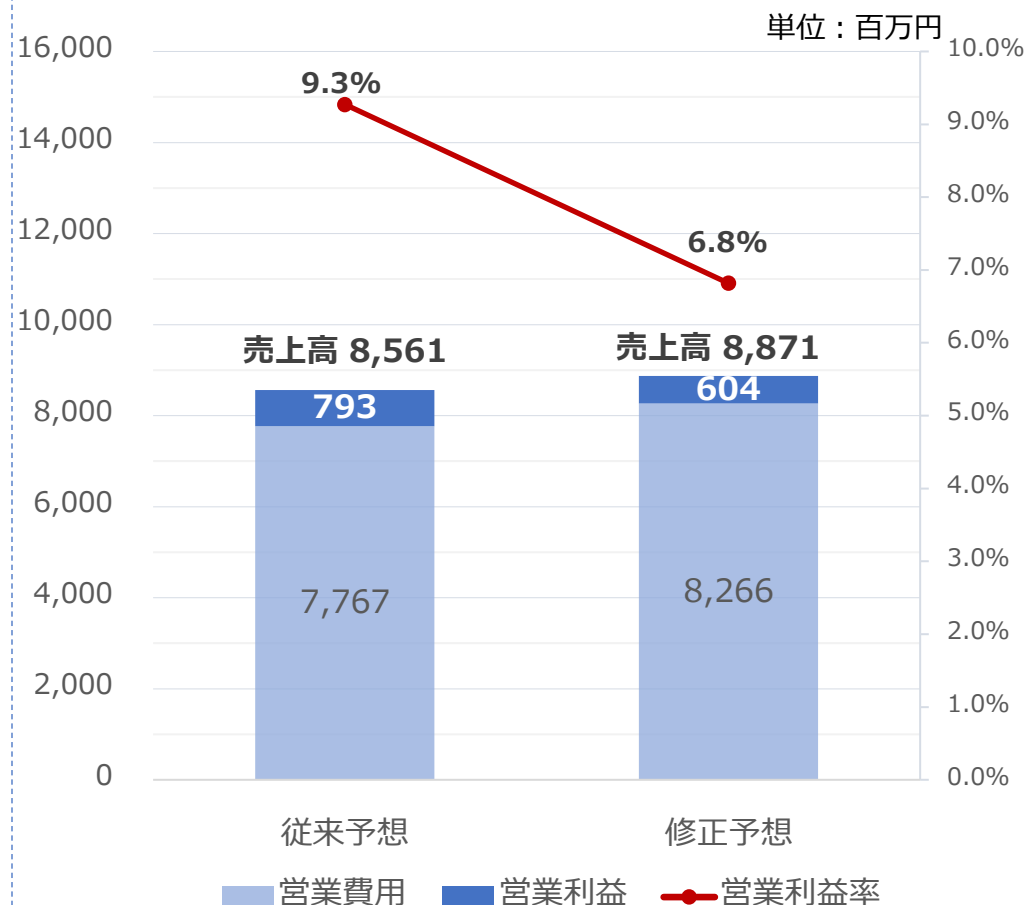
## 建設機械事業



### 【利益率の変動要因】

- 粗利率の高い製品・部品販売の減少
- 売上減に伴う販管費等（固定費）負担の上昇

## 圧入工事事業



### 【利益率の変動要因】

- 粗利率の高い工事案件の減少

※セグメントの営業利益は、セグメント間で生じる内部取引を含めて計算しております。 9

# 海外事業の進捗

## 市場形成が軌道に乗りつつある地域

### ■ヨーロッパ地域

- ✓ オランダ・世界遺産の運河護岸改修PJ等で市場形成が順調
- ✓ ドイツ、イギリスでも案件形成に手ごたえ

### ■アジア地域

- ✓ シンガポール、タイ、台湾で圧入市場が拡大

## 市場形成に苦戦している地域

### ■南米・北米、オセアニア地域

- ✓ ヨーロッパ、アジア地域に比べて圧入市場形成が不十分。課題・成果を分析して戦略を再構築する

**ヨーロッパ、アジア地域を軸に  
安定して成長する市場構造の確立に注力**

## オランダ・世界遺産の運河護岸改修PJで実証施工が進捗

11月スタート、1月に「GRB®システム」導入。発注者から高評価



省スペース施工で並木の  
伐採を回避しながら施工

「標準工法化」へ前進。現地ビジネス展開の準備も着々



**Construction Revolution**

Implant method change the Worldwide Construction